

# 当院の難聴・補聴外来の取り組み

## 難聴の診断



耳の状態を診察し、聴力検査などを行い、難聴や耳鳴り、聞き取りにくさの原因を診断します。病因のある難聴に対しては、内服または手術を含めた治療を提案します。医学的観点から、聴力改善手術や補聴器、人工内耳の適応を診断します。

## 情報保障



難聴の患者さんは「耳が聴こえなくて耳鼻科に来たのに、先生の言葉が聞き取れない。診療内容が分からない。」と思うことは少なくありません。当院では、音声文字変換アプリ等を用いて病状や検査結果など、大切な情報を理解していただけるよう情報保障に努めています。

## チーム医療



補聴器適合判定修了医師と言語聴覚士、認定補聴器技能者と連携しチーム医療を行っています。生活の中で補聴器を活用するには、補聴器の調整だけではなく聴覚リハビリテーションも重要です。言語聴覚士が文章追唱訓練やコミュニケーション指導を実施し、日常コミュニケーションの向上を図っております。

### ～難聴や補聴器の相談～

補聴器は選択や調整により聴こえ方は全く異なります。



## 取り扱い 補聴器

### 軟骨伝導補聴器 骨導補聴器



補聴器には沢山のメーカーや種類があります。また、機種によって様々な機能があります。当院では耳の状態や聴力に合わせて補聴器を選択提案しております。気導補聴器だけでなく、軟骨伝導や骨導補聴器を試聴を提案することもあります。他院およびご自身で購入した補聴器も、補聴器適合検査にて補聴効果を評価致します。